

長崎大学では下記の研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で試料や情報を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	乳癌症例における循環癌細胞の単離とその DNA 修復活性の測定法の確立
所属	長崎大学原爆後障害医療研究所 原研医療
研究責任者	光武 範吏 (教授)
本研究の目的	BRCA という遺伝子に異常を持つ乳癌は、DNA の傷を直す DNA 修復、特に「相同組み換え修復」というタイプの DNA 修能が低下していることが分かっています。そしてこういった乳癌には特定の抗癌剤が有効である可能性があります。本研究では、手術検体および血液を用い、癌細胞における実際の DNA 修復能を調べる方法を新しく確立することを目的としています。
研究の方法	<p>●対象となる患者様</p> <p>2010年2月から2016年1月までに当院で乳癌の手術を施行された60歳未満の方で、血族に乳癌もしくは卵巣癌の既往歴のある方。もしくは50歳未満で乳癌を発症された方。このうち、既に他の研究に利用する目的で試料を保存することに同意いただいた方。</p> <p>●利用する試料の項目</p> <p>組織、臨床データ（年齢や腫瘍の大きさなどカルテに記載されている情報）</p> <p>●研究方法</p> <p>手術・検査時に採取した組織より DNA を抽出し、癌組織にはこういった遺伝子の異常があるかを調べます。DNA のある特定の部分だけに注目した解析を行うこともあれば、場合によっては DNA すべての配列を調べることもあります。どの方法を用いるかは、研究の進行状況や腫瘍の性質によっても異なります。この DNA の配列情報と臨床データ、他の研究結果を総合的に解析し、DNA 異常、DNA 修復能と抗癌剤の効果の関係を明らかにしたいと思います。</p> <p>必要な場合には、試料・情報を他の共同研究機関に送って解析することもあります。また、これらを専門の解析企業へ送付し、解析の一部を委託する可能性があります。解析企業の中には解析を海外の施設で行うところもありますが、秘密保持契約を結んで解析を委託します。解析企業では、解析後に試料・情報は廃棄されます。この際、それらは匿名化された状態で送られ、どなたのものかわからないようにして解析が行われます。試料・情報は、郵送・暗号化された電子的送信によって送られます。</p>
問い合わせ先	<p><b>【研究担当者】</b></p> <p>氏名：田中 彩（医師、大学院生） 長崎大学病院 腫瘍外科</p> <p>住所：長崎市坂本1丁目7番1号</p> <p>電話：095(819)7304 FAX: 095(819)7306</p>

**【研究責任者】**

氏名：光武 範吏（原研医療 教授）  
長崎大学原爆後障害医療研究所 原研医療  
住所：長崎市坂本1丁目12番1号  
電話：095(819)7116 FAX: 095(819)7117  
電子メール：drms@ml.nagasaki-u.ac.jp

当院をすでに受診していない場合には、担当者から直接、本研究の詳しい説明を実施するのが難しいのですが、ご不明・ご心配な点がある場合、参加を拒否したい場合などは、上記連絡先までお問い合わせください。参加を拒否されても、その後の診療に影響が出ることはありません。本研究にご理解いただき、ご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。